

# 停電・災害時に何ができるでしょう

災害時にはその災害の種類によってさまざまな心得があります。しかしこれらのうち共通に心得ておかなければならないこととして

正確な情報を把握できるようにすること。  
生命の安全を確保すること。  
地域で助け合うこと。

という、3点があげられます。この、それぞれの心得について、太陽光発電の自立運転機能を役立てる事ができるのです。

## 地域で助け合うために

太陽光発電の機能を、家族のためだけにとどまらず、ご近所の方々、地域の弱者の方々など電力を緊急に必要とする方のために使用すれば、地域全体の災害対応の能力を向上させることができます。

## 正確な情報を把握するために

情報があれば慌てずに済みます。自立運転コンセントの電気でラジオやテレビから情報を得られれば、身の状況がわかり、落ち着いて行動できます。携帯電話を充電すれば出勤中の家族や遠くの親類に安否情報サービスなどを通じて安全を知らせる事ができます。



携帯電話の充電



テレビ・ラジオ  
活用

## 生命の安全を確保するために

衛生と食は私たちの命を支えます。新潟県中越大震災では、太陽光発電の電力で、炊飯器でご飯を炊いた人もいました。冷蔵庫が動けば医薬品を預かることができます。電気ポットでお湯を沸かし、赤ちゃんの哺乳瓶やコンタクトレンズを消毒することができます。



医薬品保管

各種消毒